

## 施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

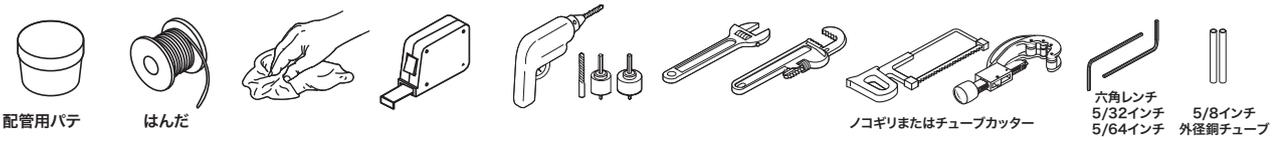
### ⚠ 取付に関する注意

	施工・交換・移設は、必ず専門の配管工業者に依頼してください。誤った施工は、落下・漏水・壁の破損の原因となります。		一般的に、浴槽用水栓の最高使用圧力は 0.5MPa (5 bar) 程度とされており、これを超える場合は減圧弁などによる圧力調整が必要です。過大な水圧は、水栓内部部品の損傷や漏水の原因となります。
--	--	--	--

### ⚠ 使用に関する注意

	既設配管内のゴミや砂を十分にフラッシングしてから接続してください。異物が残っていると、目詰まりや漏水の原因となります。		シンナー・塗料・強酸／強アルカリの薬品などを長時間ためたり放置したりしないでください。表面仕上げの劣化や変色の原因となります。
	著しく低い水圧の場合は、吐水量が不足し、浴槽への湯はり時間が大きく延びることがあります。		バス水栓・スパウトは、身体を支えるための手すりとして使用しないでください。破損や転倒のおそれがあります。

## 必要工具および現場手配品



**警告: 人的傷害または物的損害の危険があります。**  
怪我の危険があります。入浴者が誤って支えとして使う可能性がある場所にバス用水栓を設置しないでください。

デッキリムの表面の種類に適した切削工具をお選びください。適切な切削手順については、メーカーの取扱説明書を参照してください。

仕上げ済みのデッキにのみ取り付けてください。ラフデッキには取り付けできません。

付属の蛇口やハンドル以外のバスバルブには取り付けないでください。蛇口とハンドルは他のバルブとは互換性がありません。

地域の配管および建築に関するすべての規則を遵守してください。

設置中は浴槽のデッキ/リムの表面を保護してください。

**お知らせ**  
説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。下記の寸法図を参照して該当寸法をご確認ください。

**1 設置準備**  
水栓とバルブの取り付け穴の位置を決定します。適切な荒削り寸法については、各商品の寸法図を参照してください。

完成した浴槽デッキ/リムの厚さが16 mm未満の場合はデッキ/リムの下側に木製の補強材を取り付けてください。

補強材とデッキ/リムを合わせた厚さが76 mmを超えないでください。

取付穴の直径が38 mmを超えないようにしてください。慎重に加工してください。

**2 供給チューブの取付**

溝付きワッシャーの表裏の溝に、大型Oリング、小型Oリングを挿入します。

大型Oリング側を下向きにして溝付きワッシャーに入れ、取り付け穴の上にワッシャーを配置します。供給チューブをワッシャーと取り付け穴に慎重に挿入します。

プレートのタブを上向きに向けま。プレートを下から供給チューブにスライドさせ、デッキ/リムの裏側と面一になるまで押し込みます。ネジで固定します。平ワッシャーを供給チューブにスライドさせ、レンチでナットを締めます

パイププラグを供給チューブの上部に取り付けます。

**3 バルブ本体の取付**

完成したデッキの厚さが32mm未満の場合は、皿型ワッシャーを使用します。デッキの厚さが32mmを超える場合は、皿型ワッシャーを使用するか、廃棄してください。

カラーの下側に配管用パテまたはシーラントを塗ります。図に示すように、2本のネジをネジリングに部分的にねじ込みます。

ねじ付きリング、ワッシャー、皿型ワッシャー（使用する場合）を、バルブ本体の1つに可能な限り取り付けます。

下から、バルブ本体を取り付け穴に挿入します。上から、カラーをバルブに止まるまでねじ込みます。

バルブ本体を持ち上げてカラー止めネジを露出させます。カラー止めネジを締めます。

2番目のバルブボディについても繰り返します。

**4 チューブの加工**

T字継手が供給チューブに取り付けられていない場合は、ここで取り付けます。

T字継手の入口と各バルブ本体の出口の間の距離を測定します。適合するようにチューブを切ります。

バルブ本体を回転させ、2本のチューブを取り付けてください。チューブが正しい長さで切断されていることを確認してください。

**5 バルブの固定**

各バルブ本体のねじリングを指で締めるまで回し、プラスドライバーを使用してねじリングをしっかりと締めます。

デッキから余分な配管用パテを取り除いてください。

温水および冷水のバルブ本体を適切な給水ラインに接続します。

接続部分をはんだ付けしてください。

**6 ハンドルの取付**

ハンドルをカラーに合わせます。ボンネットを押し下げて回すと、ハンドルが固定されます。

2番目のハンドルについても繰り返してください。

ハンドルを開閉して、位置合わせと操作の妨げがないことを確認します。

**7 吐水口の取付**

バルブが閉まっていることを確認してください。給水口を開け、漏れがないか確認します。不具合がある場合は必要に応じて修理してください。

給水を停止し、供給チューブからプラグを取り外します。Oリングをエスカッションの下側の溝に押し込んでください。

供給チューブに吐水口とエスカッションを取り付けます。吐水口の位置を合わせて止めネジで固定します。ネジ固定後、プラグボタンを止めネジ穴に押し込んでください。

給水を開始してください。吐水口から水を出し、漏れがないか確認します。